

【施策～具体的な取り組み～】

市役所は目的を達成するために、次の取組を行います。

子育てを楽しみながら

安心して子育てをする

ことができる取組

子育てや結婚を

応援する気持ちを

手助けする取組

結婚や子育てを

したい人ができる

ようにするための取組



相模原市マスコットキャラクター
さがみん



相模原市子育て応援条例(案)の紹介



～子ども向け わかやすい版～

相模原市マスコットキャラクター
さがみん

【相模原市子育て応援条例(案)ってなに?】

- 相模原市では、子育てをしたい人や子育てをしている人たちを応援するとき、大切にする考え方などをまとめた文書(条例といいます。)をつくります。
- 相模原市子育て応援条例(案)とは、議会で選挙で選ばれた大人たちが条例について話し合ってもらうための案のことです。

【相模原市子育て応援条例(案)は

どのようにしてつくられたの?】

- 子どもや子育てに関する仕事を専門とする大人からの意見をもらったり、子育てしているお父さん、お母さんなどにアンケート調査をしてつくりました。

【条例をつくってどうしたいの?】

- 相模原市で子育てをしたい人や子育てをしている人たちを応援することについて、地域の人たち、会社の人たちなどの役割を決めて、どうやってみんなが応援していくのかを明らかにします。
- 子育てをしたい人や子育てをしている人たちをみんなで応援し、楽しみながら安心して子育てをすることができる社会をつくることを目指しています

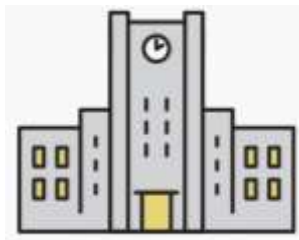


【基本理念～基本的な考え方～】

- 応援をするときは、みんながそれぞれ違う人で、結婚や子どもを育てることには、いろいろな考えかたがあることを認めて、これを大切にします。
- 市役所、地域の人たち、会社の人たち、学校の人たちはみんな協力します。
- 子どもを育てている人たちがみんなに温かく見守られ、楽しく子どもを育てることができる社会を目指します。

【市の責務～市役所がやること～】

- 市役所は地域の人、会社の人、学校の人たちがそれぞれの役割を果たしながら、みんなで助け合いができるように手助けをします。



【市民の役割】

～地域の人たちにやって欲しいこと～

- 地域の人たちそれぞれが子育てに興味を持ち、温かく見守り、みんなで子どもを育てている人たちを応援するようにします。



【目的～達成したいこと～】

- みんなに温かく見守られ、楽しみながら子どもを育てることができる社会を目指します。
- 結婚したいと思っている人が結婚できたり、子どもを育てたいと思っている人が子どもを育てることができるように応援します。

相模原市子育て応援条例(案)の内容

～子育て世代を応援する取組、

目的や考え方～



★子どもとは…高校生までの人をいいます。

★子育て世代とは…子どもを育てたいと思っている人、実際に子どもを育てている人たちをいいます。

【事業者の役割～会社の人たちに

やって欲しいこと～】

- 会社の人には、お仕事と子育ての両方ができるような職場づくりを進めます。
※例えば、小さな子どもを育てる間、仕事をお休みできます。



【学び・育ちの施設等関係者の役割

～学校の人たちにやって欲しいこと～】

- 学校の人たちは、保護者や地域の人たちと協力しながら、子どもが健やかに育つような環境づくりを進めるようにします。

